

JR連合東海地方協議会

2021春闘討論集会開催



2月12日、名古屋市内においてJR連合東海地方協議会2021春闘討論集会が開催され、貨物鉄産労からは、東海地協梅本副議長、東海地区本部橋爪書記長、辻村本部書記長の3名が参加しました。

会を代表として挨拶に立った丸山議長からは、JR産業が置かれている厳しい状況を説明し、「コロナ禍で組合活動が制限され、経験したことのない厳しい状況

に会社は立たされておき、これまでとは全く違った春闘になるが、東海地協が一つになつて闘っていきたい」と力強く訴え、来賓のJR連合中村交通政策部長からは、2021春季生活闘争方針について、ポイントを絞り今後の取組み方の説明を受けました。

今回の討論集会は緊急事態宣言下の開催であり、「規模縮小」

「時間短縮」とするため、全加盟単組からの決意表明を断念し、JR東海ユニオン、貨物鉄産労、JR東海バスユニオンの3単組が代表して決意表明を行い、貨物鉄産労からは東海地区本部橋爪書記長が決意表明し、諸手当等の改善により5000円以上の引き上げ、純ベア10000円の要求項目を盛り込み、4年連続のベア獲得を目標としていくことを力強く表明しました。

東海地協青年女性委員会宮澤議長による集会アピールでは、JRの責任産別として、全加盟単組の組合員による強固な団結と労使関係で『安全の確立』『2021春季生活闘争勝利』『JR連合ビジョンの実践を通じた組織強化・拡大・政策課題解決』などの柱に基づいた当面する活動方針を更に深度化することで、2021春季生活闘争において総力をあげて力強

く統一闘争を展開することを全体で確認し、丸山議長による団結ガンパローで、集会は閉会しました。

貨物鉄産労東海地区本部は、JR連合東海地協加盟単組と共にJR産業に集うすべての仲間、取り巻く社会構造の変化を冷静かつ客観的に捉え、柔軟な発想に基づき関係主体と胸襟を開いて語り合い、自らの力で未来を切り開く活動を展開していきます。



JR連合中村部長



橋爪書記長

人も保障も、
頼りがいがあると
安心できます。



セット加入でパワフル補償

マイカー共済(自動車総合補償)/自賠責共済

みんなで暮らしをガード
交運共済
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合